

みちのく震録伝 SDGsから見た 災害アーカイブと 伝承の重要性

東北大学災害科学国際研究所
災害アーカイブ研究分野
助教 ゲルスタ・ユリア

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



みちのく震録伝

私は何者なのか？

- BA, MA, 博士課程： ドイツのベルリン自由大学で日本学と文化人類学を勉強しました。
- 留学先：中央大学、上智大学、東北大学
- 東日本大震災の経験をしたことで日本で起こった災害と復興の勉強をしようと心に決めました。





SDGsと災害伝承

4 質の高い教育を
みんなに



4. 質の高い教育をみんなに

すべての人に包摂的(※)かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

5 ジェンダー平等を
実現しよう



5. ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る

10 人や国の不平等
をなくそう



10. 人や国の不平等をなくそう

国内および国家間の格差を是正する

11 住み続けられる
まちづくりを



11. 住み続けられるまちづくりを

都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする

復興構想7原則

復興への提言～悲惨のなかの希望～

(平成23年6月25日 東日本大震災復興構想会議)

【原則1】

失われたおびただしい「いのち」への追悼と鎮魂こそ、私たち生き残った者にとって復興の起点である。

この観点から、鎮魂の森やモニュメントを含め、大震災の記録を永遠に残し、広く学術関係者により科学的に分析し、その教訓を次世代に伝承し、国内外に発信する。

参考文献：<http://www.cas.go.jp/jp/fukkou/>



震災アーカイブの必要性

みちのく震録伝とは

震災

記録

伝える

東日本大震災で得られた知見の情報をすべて収集



映像

テキスト

画像

音声

東北大学
災害科学国際研究所



みちのく震録伝

- ・ 実態解明
- ・ 被災地復興支援
- ・ 南海トラフの防災対策
- ・ 低頻度災害の防災対策
- ・ 災害記憶・記録の伝承



協力

連携

被災体験者・自治体・NPO等

産官学連携
120機関以上

東日本大震災とアーカイブ

デジタル アーカイブ

SNS

写真

ビデオデータ

音声データ

研究データ

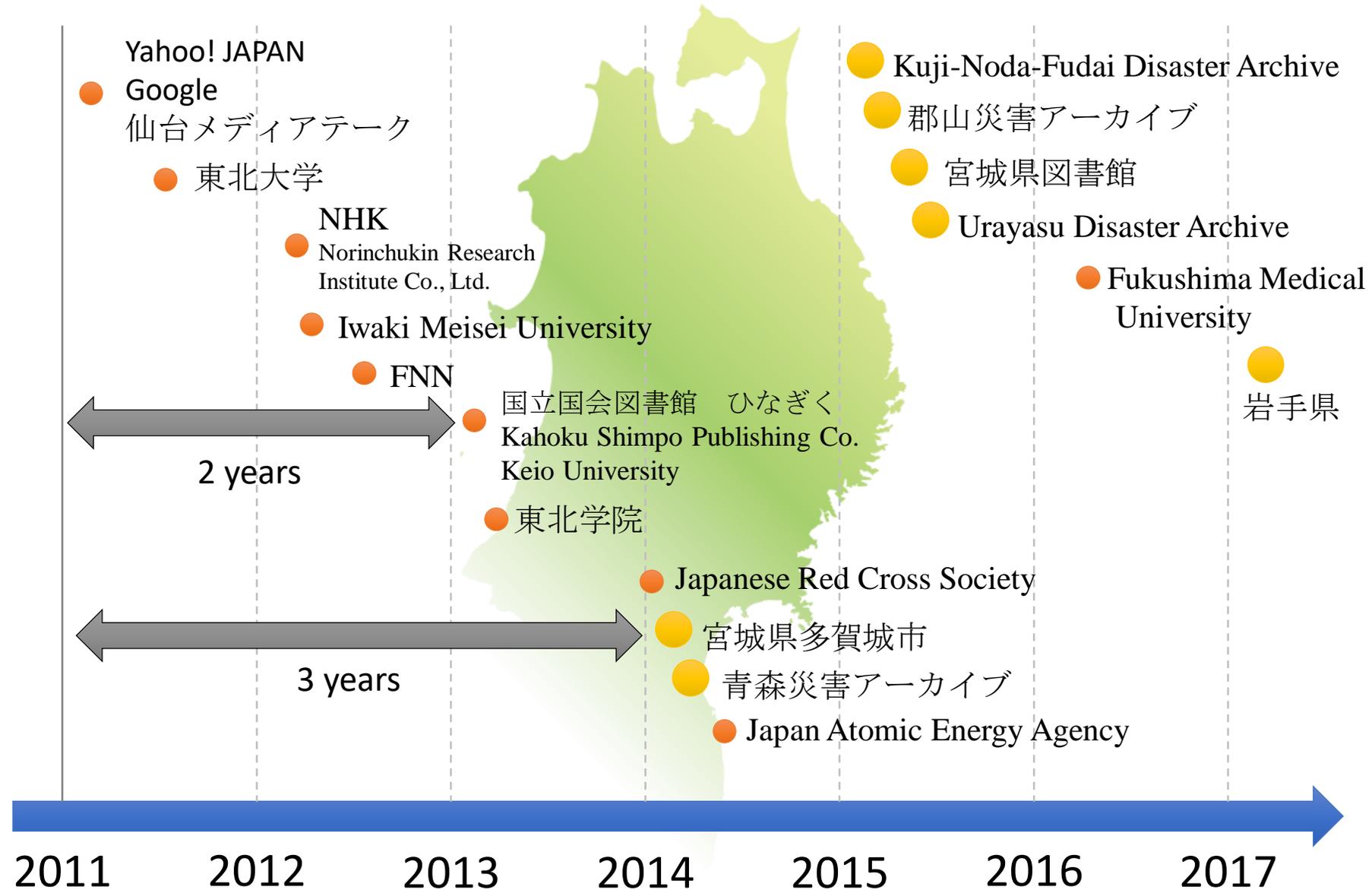
デジタルデータ

Publication
Archive

アナログのデータ

災害以降、書類のやり
とり

主な東日本大震災についてのアーカイブのリリース



デジタルアーカイブのカテゴリ

デジタル アーカイ ブサイト



ITグループ

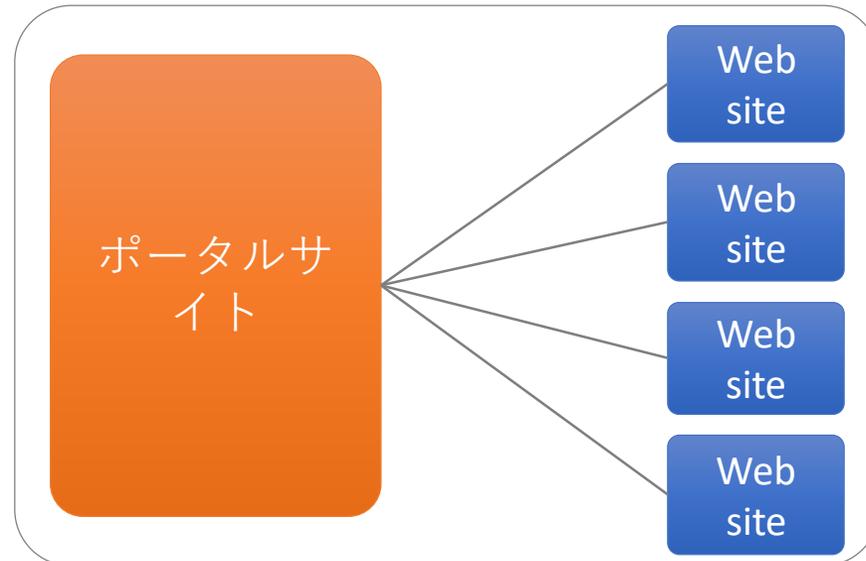
メディアグループ

教育と研究グループ

行政グループ

その他

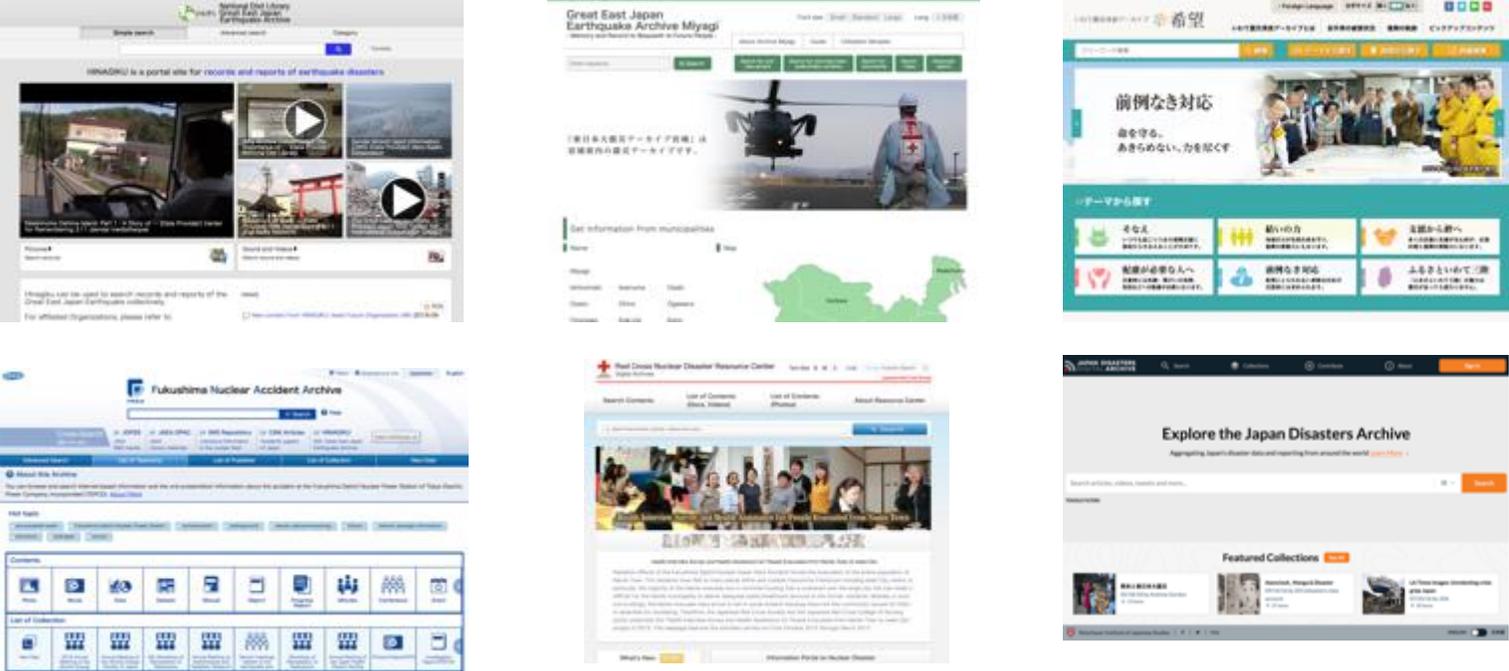
ポータル サイト



国立国会図書館
"ひなぎく"

ハーバード大学
"Japan Disaster Archive"

日本のデジタル・アーカイブの課題



アーカイブのウェブサイトは50以上
データ：約80万点

課題



ガイドライン

メタデータ

単語

場所

費用

デジタルアーカイブの課題 メタデータ

Metadata Schema of the Great East Japan Earthquake Archive of the National Diet Library



The screenshot shows the website for the National Diet Library Great East Japan Earthquake Archive. The page title is "The National Diet Library Great East Japan Earthquake Archive Metadata Schema". The main content area contains a paragraph explaining the purpose of the metadata schema and a list of links. The right sidebar contains a table of contents for the archive project.

**National Diet Library
Great East Japan
Earthquake Archive**

ひなぎく

Setting Help Language English Character size Inverse display

Main page > —Metadata

—Metadata

The National Diet Library Great East Japan Earthquake Archive Metadata Schema

To organize the digital materials, such as videos and photos, the National Diet Library Great East Japan Earthquake Archive Metadata Schema (Metadata Schema) used for the National Diet Library Great East Japan Earthquake Archive (HINAGIKU) was based on "The National Diet Library Dublin Core Metadata Description (DC-NDL)."

Although there are some exceptions, metadata of materials on the earthquake disaster can be obtained in Metadata Schema format from the RDF/XML link on the metadata details page of each material. Metadata can also be acquired in batches by using the [Application Programming Interface \(API\)](#).

- [The National Diet Library Great East Japan Earthquake Archive Metadata Schema \(Ver. Oct. 2016\)](#)

History of the National Diet Library Great East Japan Earthquake Archive Metadata Schema, Ver. 1.0

- April 2013: The National Diet Library Great East Japan Earthquake Archive Metadata Schema, Ver. Mar. 2013, is published in Japanese.
- September 2014: Ver. Sep. 2014 is published. This is an update of Ver. Mar. 2013, containing corrections of typographical errors and omissions, and available in both Japanese and English.
- October 2016: [Ver. Oct. 2016](#) is published. This is an update of Ver. Sep. 2014, available in both [Japanese](#) and [English](#).

About NDL the Great East Japan Earthquake Archive

- 1 Great East Japan Earthquake Archive Project
 - Collection of records
 - Chronology (History)
 - Brochure
- 2 About the National Diet Library Great East Japan Earthquake Archive (Nickname: HINAGIKU)
 - The list of searchable databases and others
 - Material types
 - Translation function
 - Restrictions
 - Data and services from organizations other than the National Diet Library
 - Help
- 3 Great East Japan Earthquake recovery measures

NDL:<http://kn.ndl.go.jp/static/metadata?language=en>

メタデータの課題 単語



瓦礫(kanji)
がれき(hiragana)
ガレキ(katakana)

Japanese same word

car
motor vehicle
auto car
automobile
motorcar

United Kingdom and US

デジタルアーカイブの課題 場所の情報

建物の移転



同じ名前

石巻市の日和山



プライバシーの権利



データへのアクセス

- データがいっぱいあるのにアクセスする人は少ない。
- テーマが暗い。
- 平常に異常時について考えたくない。
- 写真などがあっても説明がないと意味が分からない可能性もある。

震災記録の展開(展示物の作成支援)

みちのく 震 録 伝
 Michinoku Shin Roku Den
 Greater Tohoku Region Earthquake Record Lessons

A PARTICIPATORY PROJECT TO COLLECT AND RECORD KNOWLEDGE, MEMORIES, LESSONS, AND ANECDOTES FROM THE GREAT EAST JAPAN EARTHQUAKE AND TSUNAMI OF MARCH 11, 2011

Michinoku Shinrokuden is a participatory archival project of the International Research Institute of Disaster Science (IRIDeS) of Tohoku University. The project aims to collect and record knowledge, memories, lessons, and anecdotes from the 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami so lessons learned from the disaster can inform future disaster risk management measures.

IRIDeS called on residents living along the coast devastated by the 2011 tsunami to join a team called Michinoku Shinroku-tai (Team to report on the current Michinoku) and collect evidence from the recovery process. Michinoku Shinrokuden already collected over 40,000 pictures that record the recovery of the affected areas, and will continue to archive information on the recovery and reconstruction process for ten years.

KESENNUMA
 MINAMISANRIKU
 ISHINOMAKI
 SENDAI

<http://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp>

SENDAI

ISHINOMAKI

みちのく 震 録 伝

MINAMISANRIKU

KESENNUMA

みちのく 震 録 伝

The Great East Japan Disaster 災

Resilience for Tomorrow -invitation to WCDRR in Sendai-

March 11, 2011

Rikuzentakata City

Sendai City

絆

Reconstruction 復

2014

Future 進

2015-

2015.3.14 (sat) - 18 (wed) in Sendai, JAPAN

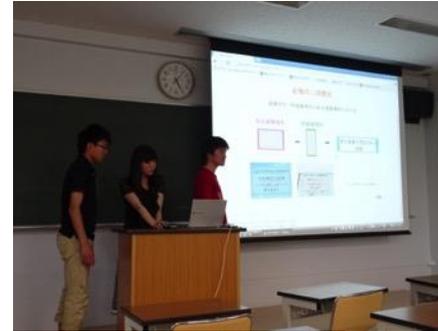
世界銀行での展示

国連本部での展示 (仙台市, 陸前高田市)

ワークショップ・授業における震災記録の展開



NHK東日本大震災アーカイブス
証言Webドキュメントとの連携



震災記録を用いた授業
(ハーバード大学との連携)



震災記録を用いたまち歩き
(多賀城市との連携)



ハーバード大学と熊本大学
とのワークショップ

博物館や メモリアルとの連携

いわて Tsunami メモリアル

旧荒浜小学校

Pacific Tsunami Museum Hawaii (Hilo)



みちのく震録伝のおもな主催・共催イベント



かたりつぎ - 朗読と音楽の夕べ -

2012年度

宮城県・東北大学川内萩ホール 650人

2013年度

宮城県・東北大学川内萩ホール 1,000人

2014年度

宮城県・多賀城市文化センター大ホール 1,100人

2015年度

宮城県・宮城学院女子大学講堂 1,000人

2016年度

福島県・白河市交流会館コミネス大ホール 1,000人

2017年度

宮城県・多賀城市文化センター大ホール 1,100人

2018年度

宮城県・宮城学院女子大学大学講堂 800人

2019年度

岩手県・大船渡市民文化会館リアスホール (予定)



女優・竹下景子による「かたりつぎ」
(震災証言の朗読)



Tohoku University: Kataritsugi



絵画、写真、音楽など芸術とのコラボレーションによる「語り継ぎ」
より心に深く伝える取り組み



竹下 景子

入場無料 (要入場券) 全席自由

2020年3月7日〔土〕

開演 13:30 開演 14:00 (開演予定 16:00)

会場 大船渡市民文化会館リアスホール 大ホール 岩手県大船渡市樋町字下路下18-1 TEL.0192-26-4478

*本席予約をご希望の場合は実行委員会事務局(090-7663-4102)までお申し込み下さい。
*本席予約の入場はできません。*応募による申込みが必要で、詳しくは裏面にをご覧ください。

『日本の語りつくし記憶』
あれから9年が経とうとしています。
私たちは、あの日のことを忘れずに語りついでいきます。
そして、癒える心を、次世代につないでいきたいのです。

朗読と音楽の集い

かたりつぎ

出演 (順子)

- 〔朗読〕 竹下 景子 (俳優)
- 〔講演〕 角田 陽介 (前大船渡市副市長、復興庁統括官付参事官付企画官)
- 〔報告〕 柴山 明寛 (東北大学災害科学国際研究所 准教授)
- 〔演奏〕 上野 真理 (ヴァイオリン) / 高塚 美奈子 (ピアノ)
- 〔合唱〕 アカペラ・ユニット XUXU × 大船渡市立大船渡中学校
- 〔舞臺劇〕 加川 広重 (巨木木形劇団)



上野 真理 高塚 美奈子 XUXU

七人の記憶

- ・長栄丸、危機一髪 (岩手県大船渡市 木下孝之さん)
- ・リアスの丘の建設に向かって (岩手県大船渡市 大和田康仁さん)
- ・チリ地震津波からの救助 (岩手県大船渡市 横谷孝孝さん)
- ・兄のかわりに屋根を継ぐ (岩手県陸奥高田市 菊池伊加さん)
- ・津波に耐えた土蔵の主として (宮城県石巻市 本間真一さん)
- ・民謡の里から避難して (福島県南相馬市 沢田龍さん)
- ・いつか、女神楽を (福島県いわき市 佐藤広一さん)

ライブ中継 13:55～ (当日のみ中継いたします)
中継URLは「みちのく復興伝信HP」にて2020年3月1日にお知らせします。
<http://www.shinrokaden.trides.tohoku.ac.jp>

かたりつぎ実行委員会 事務局 (〒19-000-1700) TEL.090-7663-4102

会場までのアクセス

- 【鉄道】・東北新幹線水沢江東駅より車で70分
・JR大船渡線盛岡より徒歩15分
・三陸新道線盛岡より徒歩15分
- 【高速道路】・水沢インターチェンジより車で90分



仙台からのおすすめアクセス

- 【高速バス】「仙台-大船渡」乗り継ぎの乗合バス約4時間20分
高速バス(仙台-大船渡)約4時間20分(大船渡)約2時間30分(岩手県)
路線バス(仙台-大船渡)約4時間20分(大船渡)約2時間30分(岩手県)
路線バス(大船渡-盛岡)約1時間30分(大船渡)約1時間30分(岩手県)

高速バスチケット予約のお問い合わせ先
東北交通(株) TEL: 022-261-5333 岩手県交通(株) TEL: 019-654-2141

協賛： 株式会社ハス株式会社、凸版印刷株式会社、たいとう製菓株式会社、日本総合システム株式会社、株式会社キヤッソン大船渡、大船渡温泉、大船渡アザナホテル、雄飛商事株式会社

主催： 大船渡市、東北大学災害科学国際研究所、空城学院女子大学、かたりつぎ実行委員会、復興支援コンソーシアム実行委員会(特定)
後援： 宮城県、岩手県、福島県、宮城県石巻市、岩手県陸奥高田市、福島県川俣町、福島県南相馬市、大船渡市教育委員会(公財)岩手県文化復興事業団、東海新聞社、岩手日報社、河北新報社、朝日新聞社、毎日新聞社、毎日新聞社、NHK、NHK放送文化センター、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手県民テレビ





ご清聴ありがとうございました